

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第59号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年3月19日 17時33分ごろ	
発生場所	福岡県福岡市博多港内 博多港西防波堤灯台から真方位084°280m付近 (概位 北緯33°37.1′ 東経130°23.1′)	
事故等調査の経過	平成22年4月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A タンカー 第七伊勢丸<sup>いせまる</sup>、1,472トン 134979、コスモ海運株式会社</p> <p>B 砂利運搬船 松陽丸<sup>しょうようまる</sup>、498トン 134186、伸栄運輸商事株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、三級海技士（航海）</p> <p>B 船長、四級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 左舷船首ファッションプレートに破口、左舷船首外板凹損</p> <p>B バルバスバウ凹損、バウチョック凹損、船首ハンドレール倒壊</p>	
事故等の経過	A船は、船長Aほか10人が乗り組み、約5～6ノット(kn)の速力で博多港内を出航中、B船は、船長Bほか4人が乗り組み、博多港東浜ふ頭に向け、約5knの速力で入航中、平成22年3月19日17時33分ごろ、A船の左舷船首部とB船の船首上部が衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南東、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 ほぼ低潮時</p> <p>日没時刻：18時29分ごろ</p>	
その他の事項	<p>A船は、離岸後徐々に速力を上げ、博多港の防波堤入口に向けて出航中に入航中のB船を視認して汽笛を鳴らしたが、B船に防波堤の外で待つ気配が見えなかったため速力を減じた。</p> <p>B船は、中央航路の右側を防波堤入口に向けて入航中、防波堤の約200m外側付近で出航中のA船を視認したが、B船の方が早く防波堤入口に入ることができると思って続航した。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり Bあり</p> <p>A なし Bなし</p> <p>A なし Bなし</p> <p>A船は、博多港の防波堤入口付近において出航中、B船が防波堤の外でA船の進路を避けるものと思われ、速力を上げて防波堤入口に向かったものと考えられる。</p> <p>B船は、A船が防波堤入口に到達するよりもB船が早く防波堤入口を入航することができると思</p>

	い、入港を続けたと思われる。
原因	本事故は、博多港の防波堤入口付近において、A船が出航中、B船が入航中、B船がA船よりも早く防波堤入口を入航することができると思い、入航を続けたため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。